

ようこそ！奥尻高校へ！

4月10日（月）平成29年度の入学式が行われました。

今年度の入学生は全国から生徒募集を開始して初めての入学生です。奥尻町内の入学生10名に、札幌市、音更町、置戸町からの島留学生5名を加え、15名の新入生を迎え入れることができました。

入学式の後、2・3年生を代表して、生徒会長の高田さんから歓迎のあいさつがありました。

平成28年度より町立となり、この平成29年度からは島留学生の受入とともに、連携型中高一貫教育のスタートとなります。全校生徒41名とともに、「まなびしま奥尻プロジェクト」を更に推進してまいります。これからも奥尻高校へのご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

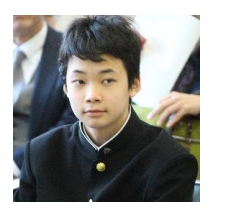
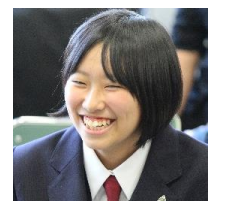
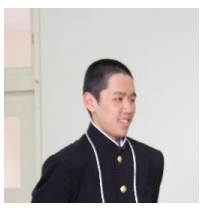
島おじ島おば・島おや対面式

通称「島おじ島おば」とは、島留学生が親元を離れての島での下宿生活を安心して送ることができるように、地元奥尻の方々にサポートのボランティアをお願いするもので、島の房暖ロッジ取次団が立ち上げました。

下宿生の生活を様々な場面でサポートするボランティアにご協力いただき「島おじ島おば」の方々、ご協力いただき下宿先の大家さんである「島おや」、そして島留学生5名と彼らの保護者の方々の対面式を、4月10日入学式の後、本校音楽室にて行いました。

それぞれの自己紹介を行った後、3つのグループに分かれて、交流しました。最後には「よろしくお願ひします」と全員と握手を交わしました。初めは不安そうな表情を見せていた島留学生たちでしたが、対面式を終え、実際に言葉を交わすことで、少し安心した表情を見せてくれました。

これから、奥尻での下宿生活を送るに当たり、力強いサポーターとの絆を結ぶことができました。



奥尻のグローバル化は実現できるか ～未来へ投資を！～

奥尻高等学校長 俵谷俊彦

これをご覧いただいている保護者の皆さま、奥尻町の皆さまにおかれましては、平素より本校の取組にご協力ご支援をいただき、大変感謝しております。3年生、2年生の成長する姿、新入生の頑張る姿等、毎日、様々なドラマを目の当たりにし、多くの喜びをいただいております。部活動では練習場所を中学生と同じくし、熱気がみなぎっています。それによって選手たちは大きな力を得ていると思います。また、島留学生たちは、それぞれのやり方で島の生活と本校の教育活動に順応しはじめ、新しい流れの中で大きく動き始めています。



さて、いつもであればこの紙面で本校の取組について、そして目指す方向性等について、お伝えするところですが、それらについては、すでに本校ホームページ、本校オフィシャルフェイスブック等でお知らせしており、また、私からの生徒へ向けたメッセージについては、始業式、入学式等で生徒に直接語っておりますので、今回の奥高だよりでは、主に保護者の方、地域の方に向けて書いております。テーマは、「奥尻のグローバル化は実現できるか ～未来に投資を！～」です。

目の前のチャンスを逃しているのでは？

皆さんは、現在、島内で Okushiri English Saloon が開催されているのはご承知だと思います。しかし、残念ながら、自分の住む地域の近くで開催されている、授業料なしの、カジュアルな雰囲気楽しい英会話の場を活用しようとする方が多くないようです。しかも、自分のご子息に対して積極的に参加を奨励する方もそれほど多くないようです。本当に目の前のチャンスを逃している、としかいいようがありません。

「難しいから」、「恥ずかしいから」「できないから」「わからないから」「スマホで十分だから」理由をたくさんあげる方を多く見てきていますが、本当に、自分やご子息が将来、臆することなく世界の人と対等に話し合える能力を、目の前に大きなチャンスがあるのに、なぜ伸ばそうとしないのか理解に苦しみます。

ご子息については、「授業があるでしょ」「授業で育てればいいでしょ」とおっしゃる保護者の方もいますが、過去、高校を卒業した段階で、どのくらいの人が英語を話せるようになったのでしょうか？昔と違い、現在は英語の授業も変わり、高校ではほぼオールイングリッシュで授業を進めていて、本校では他校に比べ卒業時には高い能力を身に付けていると感じますが、通常は、英語を使って外国人と対等に自由にコミュニケーションができるようになるためには、最低2000時間の学習時間が必要だと言われています。

- | | | |
|--------------------|-------------|------------------------|
| • 中学校の授業 | ＝約350時間 | (週4回 ×年間35回×50分×3年間) |
| • 高等学校の授業 | ＝約350～525時間 | (週4回～6回×年間35回×50分×3年間) |
| • 中学と高校の授業における学習時間 | ＝ | 約700時間から875時間 |

通常は高校卒業するまで700時間英語を学習しており、本校生については卒業時に、ある程度英語でコミュニケーションがとれる能力も身に付けていますが、それでも、外国人と自由にコミュニケーションがとれるまでになるには、1300時間足りないと考えます。ですので、英語をぺらぺらと話したいと考える人は、その足りない時間に効果的な学習をあてるために、英会話学校に通ったり、海外留学したりしているわけです。

はたして、子どもをテレビの前に座らせて、ずっと海外テレビを見せたら英語が上達するか？

その足りない時間を一人で家で勉強していれば良いじゃないかという人がいますが、次の英語習得の法則をご存じですか？

子どもをテレビの前に座らせて、海外の番組を観せつづけても、英語を使えるようにはならない。
英語の文章を自分でただ訳しているだけでは、英語を話せるようにならない。

では、どうすれば英語を使えるようになるのでしょうか。その秘密は、**インタラクション（双方向のやりとり）**なのです。つまり、話しかけられ、それに回答し、今度は自分が何かを伝え、相手からその反応が返ってくる。このような双方向のやりとり、つまりインタラクションがあると、通じる英語が身に付きます。そのため、一人でもって人と接触しない中で、英語のコミュニケーション能力を身に付けることはほぼ不可能です。

よくテレビで宣伝されている教材等で、一人で勉強すれば話せるようになるのでは？という声も聞かれますが、インタラクションをする相手がいるかどうかによって、大きく異なります。実際に人を相手に話をし、言葉につまったときにどうするか、また、他の人が話しているときに、どのようにカットインするか等の方略については、一人で部屋にこもっての学習だけでは多くを期待することはできません。

しかし、このイングリッシュサローンは違います。たった90分参加して、参加している人達とたくさん英語でのやりとりを行い、楽しい時間を過ごしながら、英語での反射神経を鍛えています。このイングリッシュサローンで得た刺激を軸に、残りの1300時間を自分で学習すると、自分の想像以上に英語でコミュニケーションをする力を身に付けることができます。



昨年のイングリッシュサローン（海洋研修センターにて→）

もう一つ大事な英語上達の法則があります。それは、

恥を多くかけばかくほど、英語でのコミュニケーションが上達する。

です。いかがでしょうか。自分に対する噂が気になるでしょうか。関係ありません。たくさん恥をかきましょう。

町をグローバル化するためには

ちなみに、どこの地方自治体もグローバル化、グローバル化と叫んでいますが、学校での英語教育は別として、市民が英語を学習することを奨励している自治体はほとんどありません。まるで大人は子どもまかせという感じです。しかし、大人でも学習を始めれば、相当英語でコミュニケーションがとれるようになるというのは現代の常識です。スマホ等の翻訳機能にたよらず、訪れた外国人の目を見て、Are you OK? Is there anything I can help you?（「大丈夫?」「何かお手伝いできることありますか?」）と優しく、温かく声をかけられる人が、この奥尻で増えてくれば、その優しさが世界に伝わり、必ず訪れる外国人が増えてきて、奥尻の魅力が世界に伝わり、さらに外国人の目で、新たな奥尻島の魅力を発掘することにつながります。



9月以降に、ALT（英語指導助手）の方が奥尻高校に常駐します。この出会いにより大きく自分の世界が広がると思います。今度来られるALTと英語で自然にコミュニケーションができるようになれば、どこの人達とも自由に話することができます。

チャンスは島の外でなく、この島の中にあります。

自分や子ども、奥尻の未来のために時間と労力を投資しませんか。勇気をもってチャレンジしてみましょう。

←昨年のイングリッシュサローン（青苗支所にて）



【奥尻イングリッシュサローンについて】

実施日程・場所、参加申し込み方法等については、次のサイトでご覧になれます。

奥尻高校ホームページ⇒<http://www.town.okushiri.lg.jp/highschool/detail/00003735.html>

奥尻高校公式フェイスブック ⇒ <https://www.facebook.com/Okushiri/>

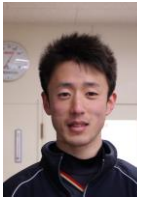
また、奥尻海洋研修センターと町役場においても、リーフレットがありますのでご参照ください。

新 着 任 教 職 員 紹 介

今年度、7名の新たな教職員を迎えました。



教諭 小栗 野乃佳 (初任)
2学年副担・理科・バレー部
理科を楽しく身近に感じてもらえるよう自分なりに努力していきます。



教諭 井上 暁史 (初任)
1学年付・保健体育科・野球部
札幌北から初任としてやってきました。何事にもチャレンジし、一生懸命がんばります。



教諭 厨子 統 (期限付)
2学年付・英語科・野球部
手稲中からやってきました。授業、部活、様々な場面で生徒達と関わりを持っていきたいと思っています。



養護教諭 佐久間 花鈴 (初任)
1学年付・ボランティア局
生徒の皆さんが健康で安全な学校生活を送ることができるよう頑張ります。



事務長 松村 理志
早く島の生活に慣れて、生徒のため、学校のために頑張りたいと思います。



公務補 小林 英雄
周りの皆さんに支えられながら少しでも生活しやすい環境づくりを行いたいと思います。



公務補 若山 孝仁
生徒の皆さんが過ごしやすく居心地の良い環境を作っていきたいと思います。

よろしくお祈いします！！

5・6月の行事予定

13	土	野球部 春季大会(函館) 町民卓球大会
14	日	岬めぐりツアー(新着任者)
15	月	
16	火	
17	水	第1回町おこしワークショップ
18	木	
19	金	校内国語力テスト 卓球部 高体連(函館)
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	高P連道南支部総会
26	金	バレー部 高体連(函館)
27	土	実教公務員模試(3年)
28	日	
29	月	3年保護者説明会(18:30~) (運転免許・進路・奨学金) 挨拶週間②(~6/2)
30	火	
31	水	前期中間考査(~6/2)
6/1	木	
2	金	
3	土	
4	日	第1回英検一次
5	月	第0期総合(スクーバ・パブリシティ)

子ども相談支援センター 相談窓口のお知らせ

いじめや不登校、体罰などの学校教育に関する悩み、子育て・しつけなど家庭教育に関する悩みなど相談してください。



●電話相談
☎ 0120-3882-56
(無料、毎日24時間対応)

●メール相談
doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp
※急ぎの場合は電話相談を利用してください。

●来所相談 ※10:00~16:00

(土日・祝日、年末年始はお休みです。)

子ども相談支援センター

札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館8階
※上記の電話相談で予約してください。

Facebook ページを開設しています！

www.facebook.com/Okushiri/

高校のホームページもリンクがあります。